

千葉労働局発表
平成23年3月18日

担当	千葉労働局職業安定部 職業安定課長 山口 節夫 職業安定課長補佐 中村 芳明 電話 043(221)4081
----	---

平成23年3月新規学校卒業予定者の就職内定状況等について ～ 就職未内定者に対する「卒業前の集中支援」を実施します！ ～

本日、厚生労働省及び文部科学省では、平成22年度「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」並びに平成22年度「高校・中学新卒者の就職内定状況等」取りまとめ結果を発表いたしました。この結果、新規大学卒業予定者の就職内定率（平成23年2月1日現在）は平成8年度（平成9年3月卒業）の調査開始以来過去最低の水準である77.4%となるなど、新規学校卒業予定者の就職環境は非常に厳しいものとなっています。

千葉労働局が取りまとめた、平成23年3月新規学校卒業予定者の就職内定状況（調査方法の相違に留意願います。）は次のとおり、昨年をわずかに上回るものの、非常に厳しい状況となっています。

千葉労働局・ハローワークにおいては、新卒者・既卒者の就職支援のための各種の対策を実施し、特に、就職未内定者を対象とした「卒業前の集中支援」に全力を尽くし、本年2月末までに1,879名（新卒予定者1,143名、既卒者736名）の就職を実現してまいりましたが、今後もハローワークのジョブサポーター等が、卒業までに1人でも多くの方の就職が決定するよう、そして卒業した後も1日も早く就職が決定するよう、全力を尽くしてまいります。

就職内定状況

1 新規大学等卒業予定者の就職内定状況等（平成23年2月1日現在）

求職者数は21,958人で、前年同期に比べ4.2%の減少。
就職内定者数は13,869人で、前年同期に比べ0.9%の増加。
就職内定率は63.2%となり、前年同期に比べ3.2ポイント上回る。

[大学（大学院を含む）]

・求職者数は16,572人で、前年同期に比べ1.5%の減少。
・就職内定者数は9,938人で、前年同期に比べ2.2%の増加。
・就職内定率は60.0%となり、前年同期に比べ2.2ポイント上回る。

[短大]

・求職者数は1,438人で、前年同期に比べ10.3%の減少。
・就職内定者数は1,012人で、前年同期に比べ5.7%の増加
・就職内定率は70.4%となり、前年同期に比べ10.7ポイント上回る。

[専修学校（高専を含む）]

・求職者数は3,948人で、前年同期に比べ11.9%の減少。
・就職内定者数は2,919人で、前年同期に比べ4.8%の減少。
・就職内定率は73.9%となり、前年同期に比べ5.4ポイント上回る。

上記調査は、千葉労働局管内の大学等32校、短大12校、専修学校（高専含む）58校が12月1日時点で学生からの報告等により把握している内定状況等を取りまとめたものです。本調査は大学等の協力により可能な範囲で把握した数字を取りまとめ、報告のない学生や連絡の取れない学生などは未内定として計上しています。

なお、厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」は抽出調査として実施しており、調査時点ごとに、電話・面接等の方法により抽出した学生全員に対して学校を通じて内定状況を確認した結果であり、調査方法等が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではありません。

2 新規高等学卒業予定者の就職内定状況等（平成23年1月末日現在）

就職内定者数は3,903人で、前年同期に比べ0.6%の増加。
就職内定率は78.3%となり、前年同期に比べ1.8ポイント上回る。
求人数は5,406人で、前年同期に比べ0.3%の増加。
求職者数は4,982人で、前年同期に比べ1.7%の減少。
求人倍率は1.09倍となり、前年同期を0.03ポイント上回る。

3 新規中学卒業予定者の求人・求職状況（平成23年1月末日現在）

就職内定者数は8人で、前年同期と同数。
就職内定率は13.8%となり、前年同期に比べ5.7ポイント上回る。
求人数は39人で、前年同期に比べ2.5%の減少。
求職者数は58人で、前年同期に比べ41.4%の減少。
求人倍率は0.67倍となり、前年同期を0.27ポイント下回る。
注）中学生の採用選考については、1月1日から開始されました。

今後の取組について

千葉並びに船橋新卒応援ハローワークや各ハローワークにおいては、これまで取組を進めてきた「卒業前最後の集中支援」を徹底し、
大学等とジョブサポーターとの情報共有による個別支援の継続
マンツーマン支援の徹底
既卒者を雇用する事業主への奨励金を活用した求人確保・マッチング
中小・中堅企業等を中心とした就職面接会の追加開催
に努めます。また、ニーズに応じ、
スキルアップのための無料の職業訓練等
千葉県による雇用創出事業
も活用し、卒業までに1人でも多くの方の就職が実現するように、卒業した後も1日でも早く就職が決定するよう、全力を尽くしてまいります。

なお、東北地方太平洋沖地震による新規学校卒業予定者への影響については、現在把握に努めています。また、被災地域の新卒者支援に対する緊急対応などについては、現在検討を行っています。

千葉労働局は1人でも多くの被災地域の方が就職できるよう、全力を尽くしてまいります。

今後の就職面接会の実施予定

新規学校卒業生（既卒3年以内）に対する就職面接会を下記のとおり開催します。

対象者	開催日時 (時分～時分)	開催場所	担当安定所等	電話番号
未就職 卒業生 (既卒3年以 内の方)	平成23年5月20日 (13:00～16:30)	アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張	千葉労働局 ハローワーク	043 (221) 4081
		千葉市美浜区ひび野2-3		

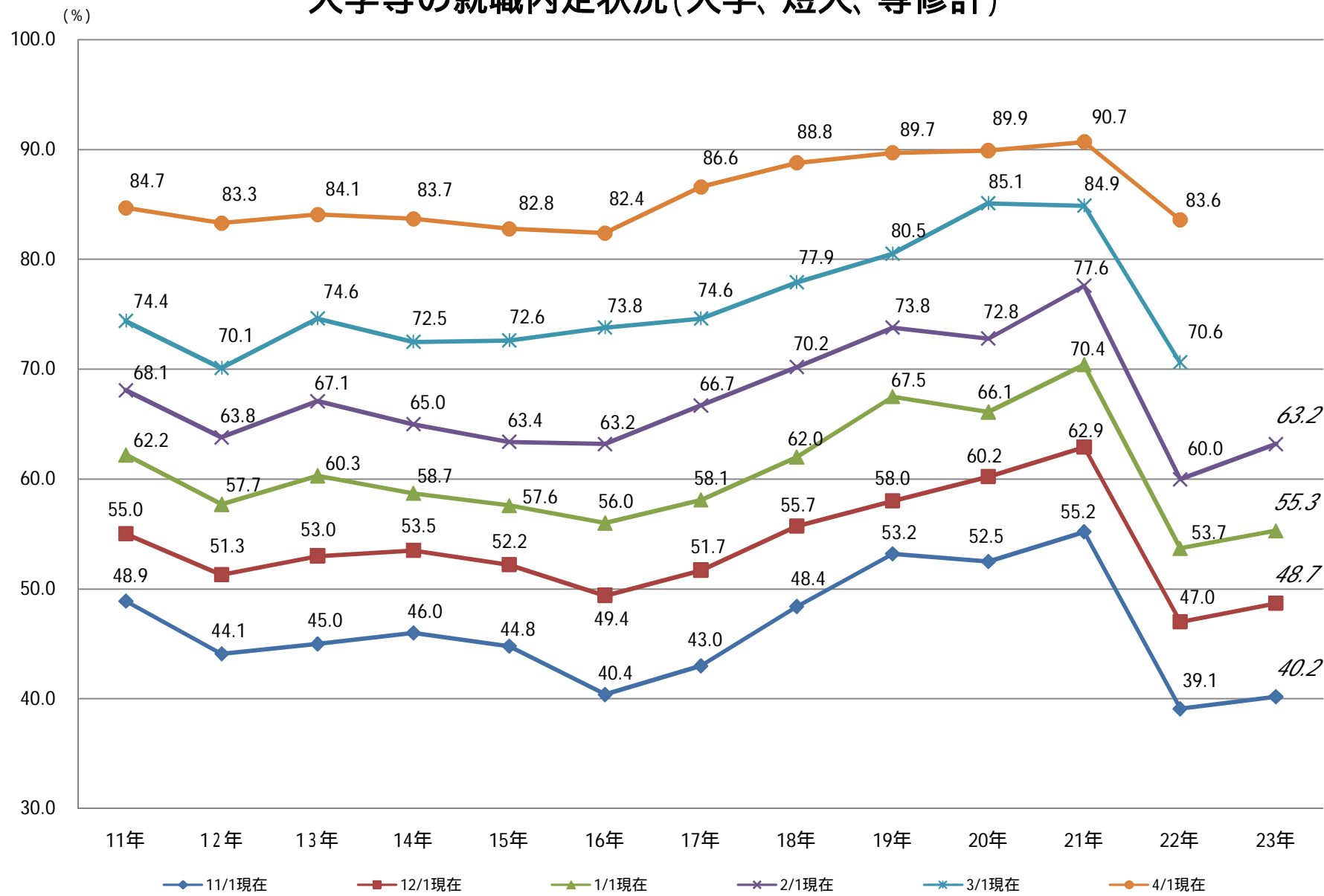
平成23年3月大学等新卒者就職状況(2月1日現在)

千葉労働局職業安定部

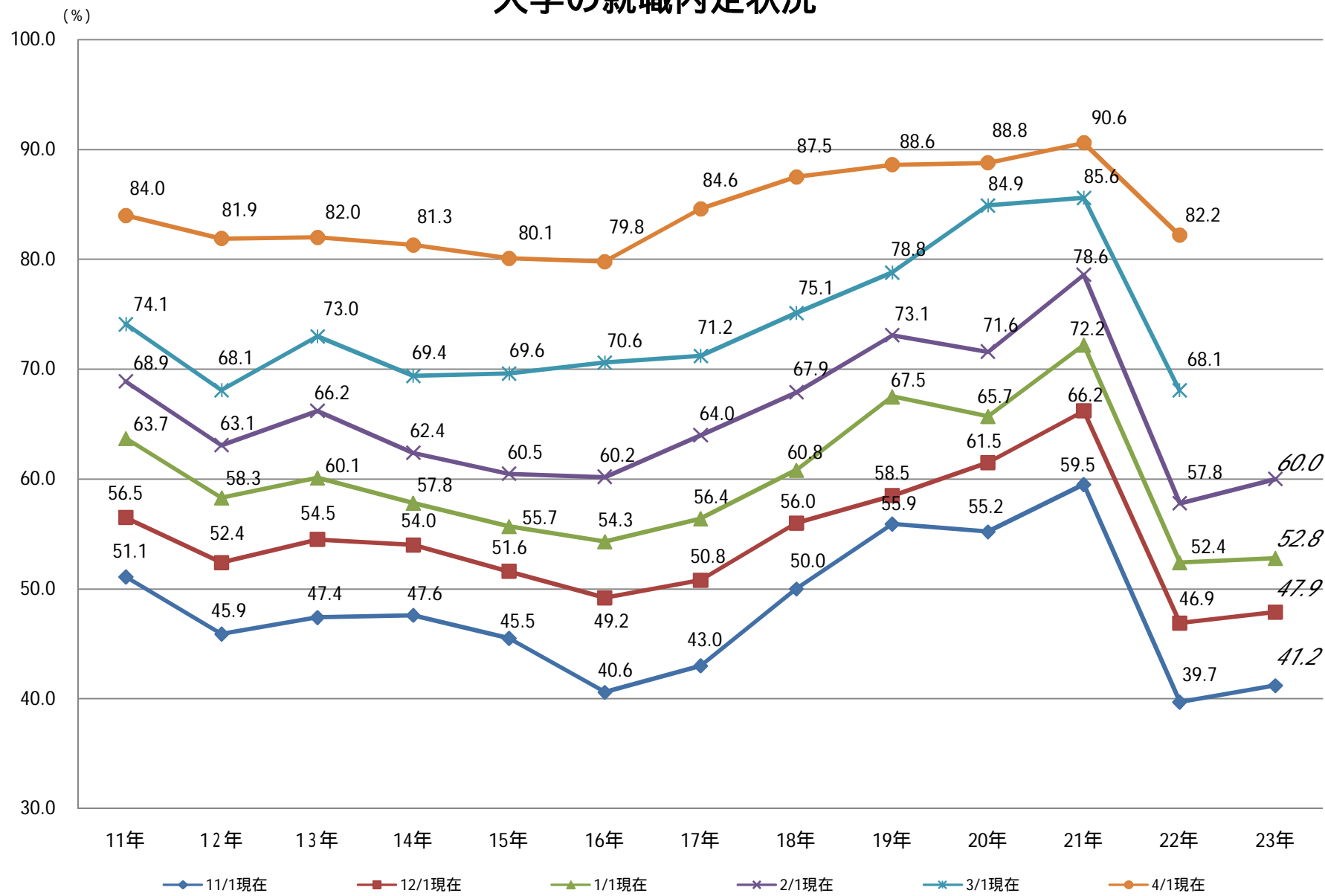
		平成23年3月卒業予定者		平成22年3月卒業予定者		前年同月比	
			女子		女子	% (ポイント)	女子
大学 (大学院)	卒業予定者	23,325	-	23,407	-	0.4 %	-
	求職者数	16,572	5,671	16,832	5,813	1.5 %	2.4 %
	就職内定者数 (内定率)	9,938 (60.0)	3,389 (59.8)	9,724 (57.8)	3,608 (62.1)	2.2 % (2.2P)	6.1 % (2.3P)
	未就職者数	6,634	2,282	7,108	2,205	6.7 %	3.5 %
短期大学	卒業予定者	1,838	-	1,943	-	5.4 %	-
	求職者数	1,438	1,344	1,604	1,524	10.3 %	11.8 %
	就職内定者数 (内定率)	1,012 (70.4)	966 (71.9)	957 (59.7)	921 (60.4)	5.7 % (10.7P)	4.9 % (11.5P)
	未就職者数	426	378	647	603	34.2 %	37.3 %
専修学校 (高専)	卒業予定者	4,238	-	5,252	-	19.3 %	-
	求職者数	3,948	2,083	4,480	2,252	11.9 %	7.5 %
	就職内定者数 (内定率)	2,919 (73.9)	1,494 (71.7)	3,067 (68.5)	1,513 (67.2)	4.8 % (5.4P)	1.3 % (4.5P)
	未就職者数	1,029	589	1,413	739	27.2 %	20.3 %
計	卒業予定者	29,401	-	30,602	-	3.9 %	-
	求職者数	21,958	9,098	22,916	9,589	4.2 %	5.1 %
	就職内定者数 (内定率)	13,869 (63.2)	5,849 (64.3)	13,748 (60.0)	6,042 (63.0)	0.9 % (3.2P)	3.2 % (1.3P)
	未就職者数	8,089	3,249	9,168	3,547	11.8 %	8.4 %

大学(大学院)32校、短大12校、専修学校(高専)58校

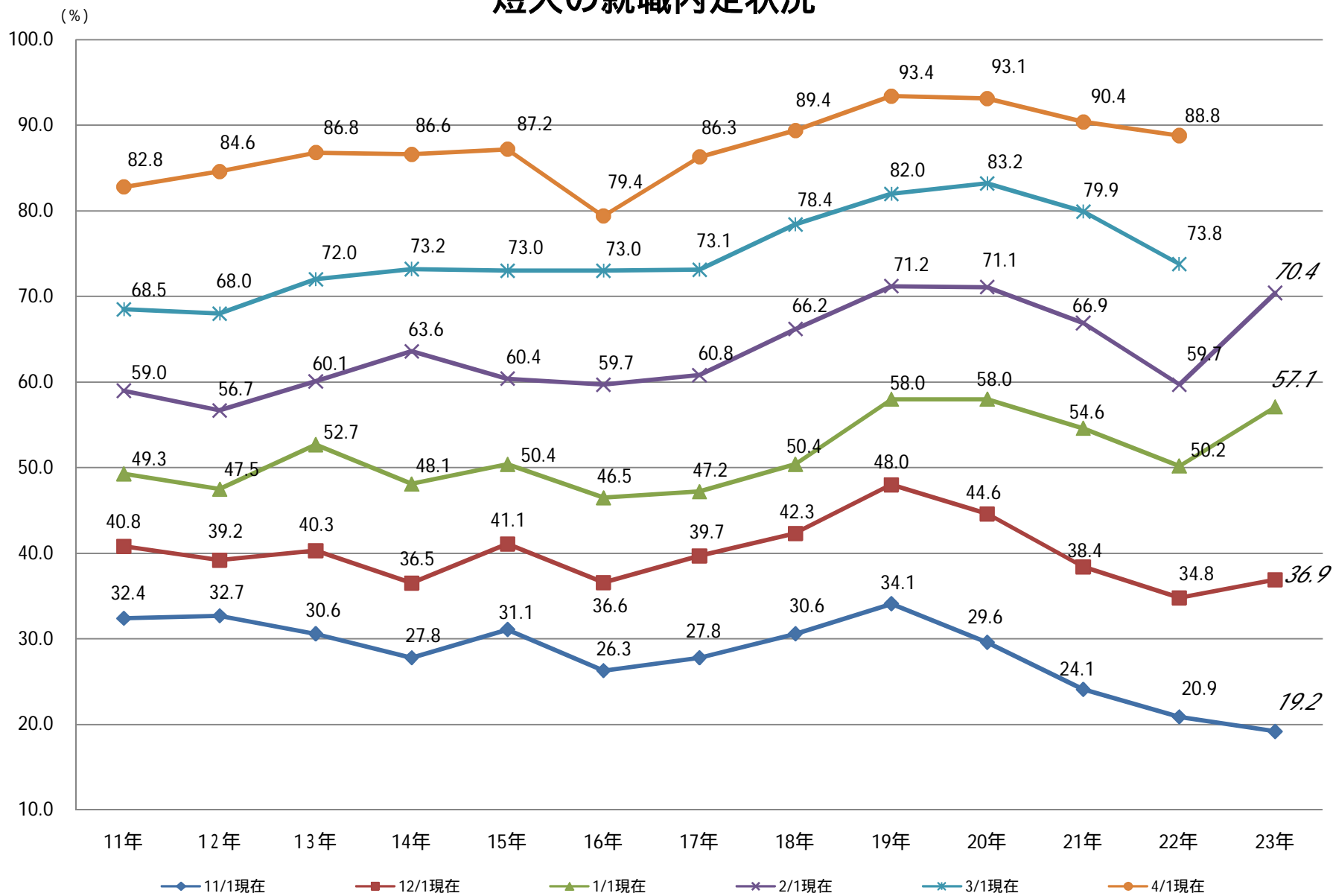
大学等の就職内定状況(大学、短大、専修計)



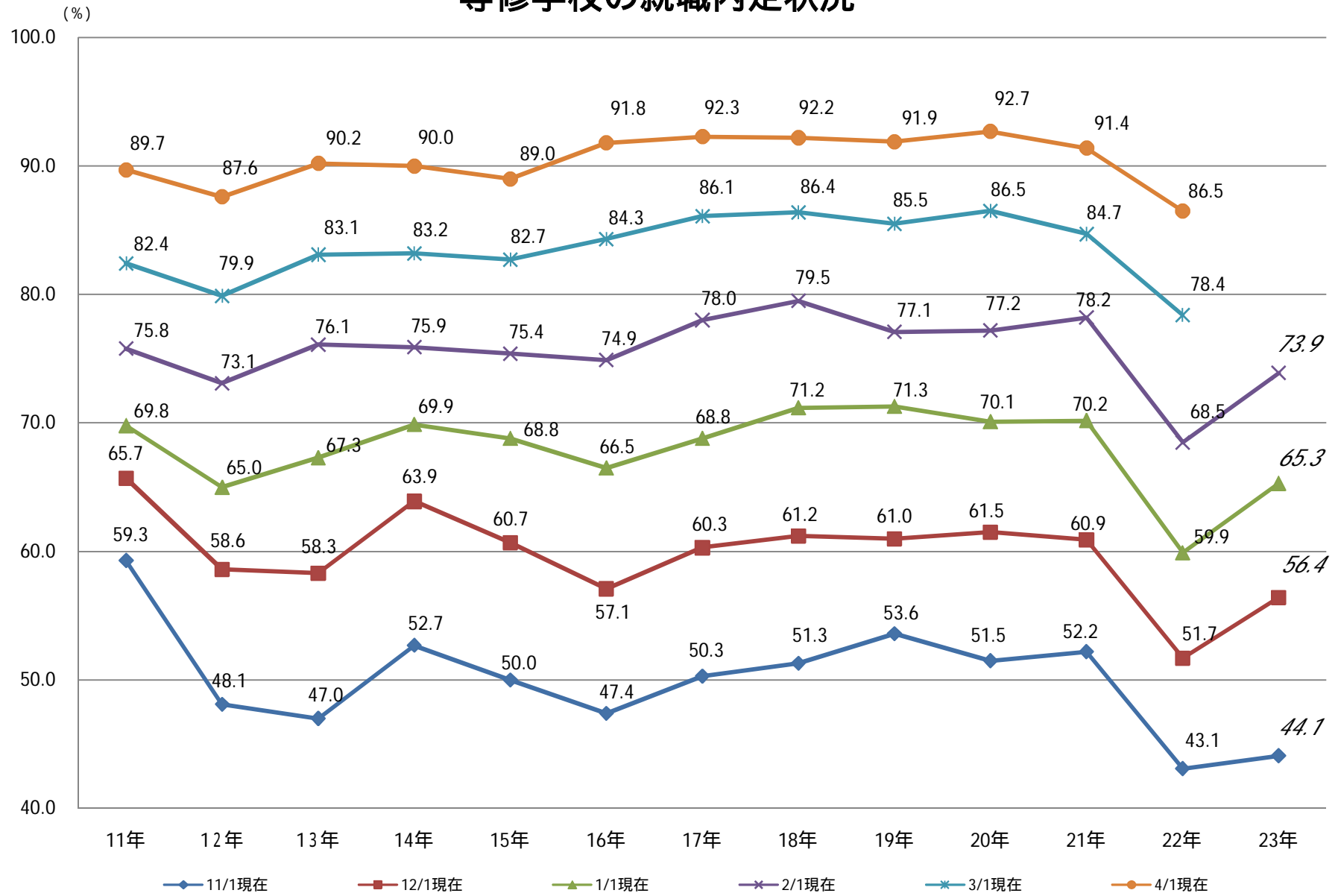
大学の就職内定状況



短大の就職内定状況



専修学校の就職内定状況

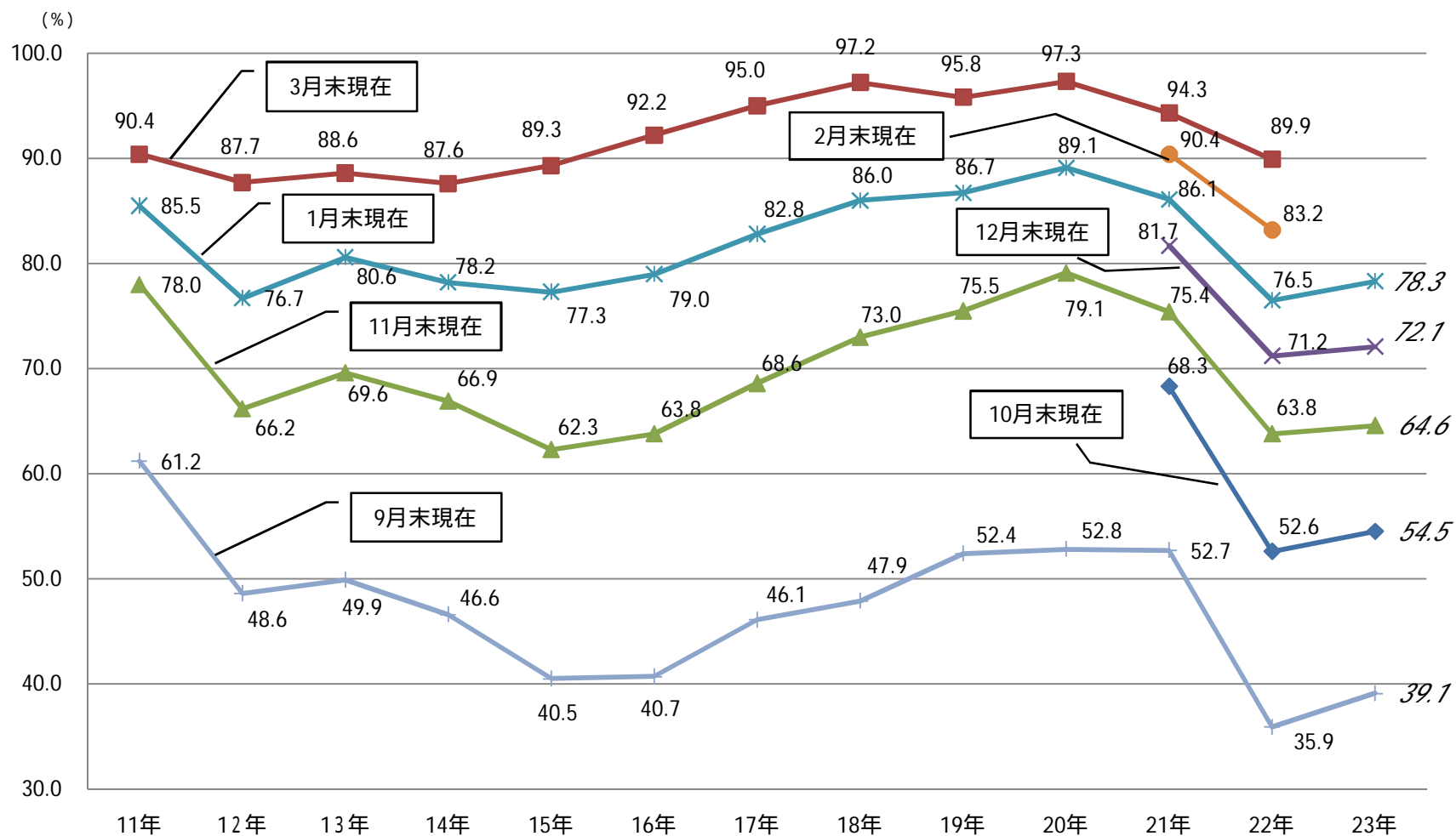


平成22年3月新規学校卒業者の求人・求職・就職状況（平成23年1月末現在）

千葉労働局職業安定部

項 目		平成23年3月 卒業者予定者	平成22年3月 卒業者	対前年同月比
中学	1 求人数	39 人	40 人	2.5 %
	2 求職者数	58 人	99 人	41.4 %
	3 就職内定者数	8 人	8 人	0.0 %
	4 求人倍率	0.67 倍	0.40 倍	0.27 P
	5 就職内定率	13.8 %	8.1 %	5.7 P
	6 未就職者数	50 人	91 人	45.1 %
高校	7 求人数	5,406 人	5,388 人	0.3 %
	8 求職者数	4,982 人	5,070 人	1.7 %
	9 就職内定者数	3,903 人	3,879 人	0.6 %
	10 求人倍率	1.09 倍	1.06 倍	0.03 P
	11 就職内定率	78.3 %	76.5 %	1.8 P
	12 未就職者数	1,079 人	1,191 人	9.4 %

高校生の就職内定状況





「卒業前最後の集中支援」の取組状況（千葉労働局）

新規大学卒業予定者等の就職環境が非常に厳しいことを踏まえ、厚生労働省、文部科学省、経済産業省は、1人でも多くの方が卒業までに就職できるよう、未内定者を対象に「卒業前最後の集中支援」を実施中。

【未内定者支援の課題】

未内定者は既卒者と違い、企業が採用するインセンティブがない 誰にも相談できず孤立・就活戦線が3年生に移行
学生が「ジョブサポーター」や「新卒応援ハローワーク」を知らない 企業とのマッチングの機会が不足

関係各省の連携による「卒業前最後の集中支援」

既卒者を雇用する事業主への奨励金の未内定者への特例的適用 中小企業団体への最後の活用要請・奨励金を活用した最後の求人開拓

「経済対策」等により創設した卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金を未内定者にも特例的に適用（2月1日より）。ハローワークにおいても、奨励金を活用した求人開拓を徹底 1 平成22年度限りの措置

【実績（2月28日現在・速報値）】 2,744人分の求人を確保

3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金（「3年以内既卒者トライアル雇用奨励金」）
対象求人数 2,487人（特例適用発表以降の増加分）
新卒扱いで3年以内の既卒者を採用する企業への奨励金（「3年以内既卒者（新卒扱い）採用拡大奨励金」）
対象求人数 257人（特例適用発表以降の増加分）

大学等とジョブサポーターとの情報共有による個別支援の徹底

大学等が支援を希望する未内定者を把握し、新卒応援ハローワーク等のジョブサポーターと情報共有

【実績（1月18日～2月28日・速報値）】

ジョブサポーター等による電話連絡者数 延べ1,941人、求人情報提供件数 3,071件

1月21日に笠文部科学省大臣政務官から各国公私立大学長・短期大学長・高等専門学校長、各都道府県知事、各都道府県教育委員会教育長に対し、新卒応援ハローワーク等に支援を希望する未内定者の情報提供を要請。

民間就職情報サイトを通じたジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の周知のためのバナー掲載

平成23年1月7日から2月8日までの間に、学生のため民間就職情報サイト（7サイト）等を掲載。

1月7日：「リクナビ2011」（株式会社リクルート）、「マイナビ2011」（株式会社毎日コミュニケーションズ）

1月25日：「日経就職ナビ2011」（株式会社日経HR、株式会社ディスコ）

1月28日：「学情ナビ2011」・「Re就活」（株式会社学情）

2月7日：「[en]学生の就職情報2011」（エン・ジャパン株式会社）

2月8日：「就活ナビ2011」（株式会社ダイヤモンド・ビックアンドリード）

中小・中堅企業を中心とした就職面接会の実施状況

未内定者のマッチング機会を拡げるために、中小・中堅企業を中心とした就職面接会を開催

【実績（3月2日現在）】 14回

参加企業数：281社 求人数：1,529人 参加学生・生徒数：2,101人

未内定者の保護者に対する働きかけの実施

未内定者の保護者に対して、新卒応援ハローワークの利用勧奨などの働きかけを実施

【実績（2月28日現在）】

5,322人



新卒者の就職を全力で支援します

厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、「卒業前最後の集中支援」を実施しています。

これにより、1月から2月末までで1,022人が就職（ハローワークによる就職決定数）するなどの成果が出ているところですが、引き続き、ジョブサポーターによる個別支援など「卒業前最後の集中支援」に全力で取り組むとともに、卒業後も1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

新卒応援ハローワーク等で就職活動を全力で支援

新卒応援ハローワーク等においては、ジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、卒業後も1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による個別支援（大学から提供を受けた支援希望者リストを使った電話による来所勧奨や求人情報の送付など）を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などのマンツーマンの支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

既卒者を採用する事業主への奨励金

卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金（平成22年度に限り未内定者にも拡充）を活用し、未内定者・既卒者のための求人を確保します。

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を開催します。
5月20日 未就職卒業者（既卒3年以内）を対象 会場：アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張

上記の支援や新卒応援ハローワークについては、卒業後も利用可能です。
さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練や地方公共団体による雇用創出事業も活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等によるスキルアップ

緊急人材育成支援事業を活用して実施される未就職卒業者向けの無料の職業訓練（ ）や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。
一定の要件を満たした場合は月10万円の生活費を支給

地方公共団体による雇用創出・人材育成

地方公共団体が「重点分野雇用創造事業」（ ）を活用し、未就職卒業者等の人材育成を行う場合、新卒応援ハローワーク等で、未就職卒業者とのマッチングを実施します。
国が都道府県に交付した基金により、成長分野における新たな雇用機会創出や地域ニーズに応じた人材育成を行う事業

採用意欲のある中小企業と若年者の雇用ミスマッチ解消

ドリームマッチ プロジェクト

インターネットの活用や合同説明会を通じて、中小企業等と大学新卒者等のマッチングの機会を提供しています。今後は、就職が決まらずに卒業する方を切れ目無く支援するため、求人が充足していない参画企業とのマッチングを5月まで継続します。

新卒者就職応援 プロジェクト

就職先が決まっていない新卒者等を対象に、中小企業における長期の職場実習（いわゆるインターンシップ）を、平成22年度後半から平成23年度にかけて1万人規模で実施しております。

これらの支援策は大学等を通じても広く周知

【事業主の皆様へ～未内定者の積極採用をお願いします～】

未内定者の採用を進めるためには、事業主の皆様の協力が不可欠です。

このため、総理が1月21日に事業主の皆様へのメッセージを出し、未内定の学生の積極採用をお願いしました。さらに、2月15日には「新卒者雇用・特命チーム」のメンバーから中小企業団体への未内定者の採用拡大要請を行い、2月16日には、高木文部科学大臣・細川厚生労働大臣・海江田経済産業大臣の連名により、主要経済団体（247団体）に未内定者の採用拡大等の要請書を発出するとともに、各地域の主要企業に対し、労働局・ハローワークを通じて要請書を送付しました。

将来ある新卒者のために、事業主の皆様のご協力をお願いします。

平成23年1月21日の「新卒者雇用・特命チーム」における総理メッセージ（抜粋）

意欲と能力のある若者が、就職できないということは、本人だけではなく、国家・社会にとっても大きな損失です。企業の皆様には、未内定の学生のために求人をご提出いただき、積極的な採用をお願いします。

企業が未内定の方を雇いやすくするために、既卒者を採用する事業主向けの奨励金を拡充し、未内定者も特例として助成対象とすることとしました。

こうした支援策も活用いただき、未内定の学生にチャンスを与えてください。